

2021 年 度 事 業 報 告 書

NPO法人子ども支援センターつなぐ

1 事業の成果

設立3年目は、2020年度からスタートした、神奈川県との協働事業「かながわボランティア活動推進基金 21」の事業を進めながら、子どもたちの権利擁護や子どもたちが必要とする適時適切な支援を進められるよう、ワンストップでアウトリーチに、多機関多職種と連携を図りながら事業を進めた。神奈川県内においては、弁護士からの支援依頼も増え、ワンストップに必要な支援に適時適切につなげることができた。また、神奈川県内だけでなく、さまざまなエリアから被害児やその保護者、過去の被害者からの相談が2020年度よりも増加した。

付添犬の活動を推進するために、つなぐ主催の勉強会を特定非営利活動法人神奈川子ども未来ファンドの助成を受け実施。児童相談所や弁護士会との勉強会も実施することができ、付添犬活動の理解と付添犬派遣依頼につながった。国会議員に付添犬とともに表敬訪問を行うなど、より広く事業拡大を要望するなど、広報活動も積極的に実施した。

講演会、研修においては、コロナ禍でもあり、オンラインでの開催を中心にしたことで、全国各地から参加可能となり、結果的につなぐの事業を広く伝える機会となっている。参加者も様々な分野で虐待被害児支援を行っている方々となり、より専門的な内容に加え、子どもたちに接する多くの大人がより参加しやすい研修が求められていることがわかった。それらについては、2022年度の研修事業に反映させることとした。

神奈川県との協働事業が2022年度で終了することを見据え、また今後安定した事業活動、団体運営を行うために、賛助会員募集に力を入れるとともに、初めてマンスリーファンディングキャンペーンを実施、継続寄付者の拡大につながった。と同時に、これまで活動を通じて得た信頼度をより確実なものにし、組織運営の強化と持続性を強固なものにするために、「特例認定NPO法人」の認定申請を行った。

以上のように、設立当初から、神奈川県を中心に首都圏や付添犬事業については愛知県でも活動を進めて、研修や講演会などには、全国各地から参加が得られるようになった。活動範囲が全国的になったが、名称によって活動範囲が「神奈川」に限定するものと誤解を生じたり、限定的になることを避けるため、団体名称から「神奈川」を削除し、11月に「こども支援センター」つなぐと改称した。

2 事業内容

(1) 特定非営利活動に係る事業

① 被害児・被害者の権利擁護事業

支出額：167,921円

ア 専門知識を備えた面接官による聞き取り事業

- ・内 容 必要最低限の回数の面接で、裁判の証拠としても使用可能な形で被害者・被害児から聞き取りを行った。
- ・日 時 9月
- ・場 所 神奈川県立こども医療センター内
- ・従事者人員 6人
- ・受益対象者 被害児 1人

イ 被害児、被害者の裁判準備、裁判支援、事案管理、アドボケートの実施事業

- ・内 容 法的な支援を希望する被害者・被害児に対し、弁護士の紹介、関係機関への連絡、病院や裁判所等への同行支援などの手配や支援を行った。

- ・日 時 通年
- ・場 所 事務所
- ・従事者人員 3人
- ・受益対象者 被害児・元被害児及びその周囲の人 11組

② 被害児・被害者、その周囲の人の心身の回復に対する支援事業 支出額：6,211,547

ア かながわボランティア活動推進基金 21 協働事業負担金事業

(ア) ワンストップサポート事業

- ・内 容 性的虐待・性暴力を受けた子どもが、成長に伴い発生するトラウマ、引きこもりなどの問題に対し、必要な医療支援や福祉支援を家族、学校など教育機関、担当児相など行政機関と連携し、必要な支援内容を検討し、コーディネートを行った。
- ・日 時 通年
- ・場 所 神奈川県内
- ・従事者人員 10人
- ・受益対象者 被害者・被害児、保護者など 34組

(イ) 子どもへの寄り添い、同行支援事業

- ・内 容 日々の生活の中で発生する一人で外に出られない、話し相手が欲しいなど、子どもの気持ちに寄り添いながら登校や通院などの同行支援やオンラインでの対話を実施した。それにより、子どもの不安を取り除き、より早急な被害回復を促進した。
- ・日 時 通年
- ・場 所 神奈川県内
- ・従事者人員 10人
- ・受益対象者 被害者・被害児、保護者など 34組

イ かながわボランティア活動推進基金 21 協働事業負担金対象外の子どもに対する支援

- ・内 容 支援を必要としている虐待・暴力・いじめ等を受けた子ども等に対し、電話やオンラインでの面談を行い、支援を実施した。
- ・日 時 通年
- ・場 所 神奈川県、愛知県
- ・従事者人員 8人
- ・受益対象者 被害者・被害児、保護者など 12組

ウ 個人や企業・団体からの寄付金品等及び財団からの助成金をもとにした、子ども・若者の生活や進学・就職等及び被害からの回復に必要な医療等に関わる助成

(ア) 首都圏若者サポートネットワーク運営委員会による助成事業（第3回若者おうえん基金助成）

- ・内 容 首都圏若者サポートネットワーク運営委員会から交付された助成金を必要な子どもに対し使用し支援を行った。
- ・日 時 通年
- ・従事者人員 3人
- ・受益対象者 被害児・被害者

(イ) 一般社団法人生活クラブ福祉事業基金による助成事業

- ・内 容 首都圏若者サポートネットワーク運営委員会から交付された助成金を必要な子どもに対し使用し支援を行った。
- ・日 時 4月から9月
- ・従事者人員 3人
- ・受益対象者 被害児・被害者

③ 専門知識をもった支援者の養成事業

支出額：416,882

ア 虐待被害児支援・司法面接研修 (CAN 研修) の実施 (かながわボランティア21 事業)

- ・内 容 等 虐待被害児支援・司法面接研修の実施
横浜市青少年育成センターとの共催開催とし、会場や通信機器のサポートを得た。

研修名	第5回 CAN 研修 STEP-1	第6回 CAN 研修 STEP-1	第7回 CAN 研修 STEP-1	第1回 CAN 研修 STEP-2
日時	5月22日(土) 23日(日)	8月28日(土) 29日(日)	2月26日(土) 27日(日)	11月27日(土) 28日(日)
場所	横浜市青少年育成センター及びオンライン			
参加者数	15名	32名	24名	17名
参加者属性	検察官、警察官、児童相談所職員、病院職員、弁護士、SSW等			
従事者人員	12名	15名	20名	15名

イ 各機関をつなぐ勉強会、知識や情報更新のための研修開催事業

付添犬勉強会 (神奈川子ども未来ファンド助成金事業)

- ・内 容 付添犬に関する活動や調査研究に対し理解を深めてもらい、付添犬拡大や活動を推進するための勉強会を開催した。
- ・日 時 8月9日(月)
- ・場 所 横浜市青少年育成センター オンライン
- ・従事者人員 10人
- ・受益対象者 弁護士、社会福祉士、学生、児童相談所職員、保育士等、子どもの支援にかかわる人

④ 虐待、性虐待、暴力等の発見、介入、予防に関する普及啓発事業 支出額：1,118,739円

ア 講演会、出張講座等の開催事業

講演会名	子どもを性被害から守る～私たち大人ができること～	被害者支援に関わる人が知っておきたい加害者心理
開催日時	9月25日(土) 12:00～	1月29日(土) 14:00～
開催場所	横浜市青少年育成センター オンライン オンデマンド配信	横浜市青少年育成センター オンライン オンデマンド配信
講師	慶應義塾大学総合政策学部教授 (警察庁長官官房付) 小笠原和美 氏	大船榎本クリニック 精神保健福祉部長 精神保健福祉士・社会福祉士 斉藤 章佳 氏
参加者数	対面10人/オンライン65人/見逃し配信41人/合計116人	オンライン・オンデマンド 172人
従事者人員	5人	6人

イ 講演会、講座等の講師派遣事業

研修名	子どもセンターてんぽシンポジウム	HAPP オンラインカンファレンス	動物介在教育療法学会
主催者等	認定 NPO 法人子どもセンターてんぽ	認定 NPO 法人動物愛護社会化推進協会	NPO 法人動物介在教育・療法学会
派遣日時	5月15日	6月23日	10月9日
派遣講師	代表理事 田上幸治	理事 吉田尚子 山本真理子	代表理事 飛田桂 理事 吉田尚子 丸山洋子 山本真理子
従事者人員	2	2	3

研修名	藤沢西ロータリー例会	SANE 養成プログラム 2021	スクールソーシャルワーカー連絡会
主催者等	藤沢西ロータリー	日本福祉大学社会福祉総合研修センター	神奈川県教育委員会
派遣日時	11月25日	11月13日	11月2日
派遣講師	事務局長 新井香奈	理事 丸山洋子	事務局長 新井香奈
従事者人員	1	1	1

ウ ホームページ、SNS 等運営事業

(ア) トラウマインフォームドケアプロジェクト

(神奈川県子ども未来ファンド「子ども・若者支援事業新型コロナ対応助成」事業)

- ・内 容 「トラウマインフォームドケアプロジェクト」として、子どものトラウマに関する記事を HP に掲載し、継続的な啓発活動を実施する。また、活動を告知するために、SNS 広告を活用する。
- ・日 時 4月から8月
- ・場 所 事務所 オンライン
- ・従事者人員 3名
- ・受益対象者 被害児や被害者の被害からの回復に寄与する事業に関わる人

(イ) HP の追加・修正

- ・内 容 この法人の目的や意義、活動内容、被害者・被害児に必要な支援に関する現状について、広く紹介し、この法人の最新の活動状況等を更新し知らせるために、ホームページ、SNS 等を管理運営する。
- ・日 時 通年
- ・場 所 つなぐ事務所
- ・従事者人員 3人
- ・受益対象者 一般市民

(ウ) パンフレット、ニュースレターの作成

- ・内 容 この法人の目的や意義、活動内容、被害者・被害児に必要な支援に関する現状について、広く紹介し、この法人の最新の活動状況等を更新

し知らせるためにチラシ、パンフレット、ニュースレターの作成、配布を行った。

- ・日 時 通年
- ・場 所 つなぐ事務所
- ・従事者人員 3人
- ・受益対象者 一般市民

エ ボランティア説明会及び交流会

- ・内 容 かながわボランティア組織成長支援事業に参加、藤沢市民活動推進機構の伴走を得ながら、ボランティアマネジメントについて研修を受けたのち、ボランティア説明会と交流会を実施した。

	ボランティア説明会	第1回交流会	第2回交流会
開催日時	1月15日(土)	2月4日(金)	3月28日(月)
開催場所	横浜市青少年育成センター オンライン	オンライン	オンライン
参加者数	対面 5名 オンライン 10名	9名	9名
従事者人員	3人	3人	3人

オ 広報活動

(ア) メディア取材

- ・内 容 つなぐの活動を広く周知してもらうため、テレビ、ラジオ、新聞、雑誌広報誌等のメディアからの取材を受ける。
- ・日 時 通年
- ・場 所 事務所、オンライン、電話等
- ・従事者人員 5名
- ・受益対象者 全国の虐待被害児支援に関わる人

(イ) マンスリーファンディングキャンペーン

- ・内 容 つなぐの活動を支えるために継続的に寄付をいただく継続寄付者を募集するために、クラウドファンディングでマンスリーファンディングキャンペーンを実施した。
- ・日 時 10月15日～11月30日
- ・場 所 事務所、オンライン
- ・従事者人員 7名
- ・受益対象者 つなぐの事業全体の受益者

(ウ) 中学生の総合的学習支援

- ・内 容 藤沢市立長後中学校の総合的学習の集大成として実施されたSDGs 縁日に参加。つなぐに訪問してくれた中学生とともに、イベント来場者に、つなぐの活動を伝えた。
- ・日 時 3月5日
- ・場 所 藤沢市立長後中学校
- ・従事者人員 2名
- ・受益対象者 中学校生徒、保護者、地域の方

(エ) 河野太郎衆議院議員表敬訪問

- ・内 容 付添犬とともに表敬訪問を行い、つながぐの活動、特に付添犬に関する活動の説明を行い、付添犬事業拡大のための要望を行った。
- ・日 時 9月26日
- ・場 所 衆議院議員会館
- ・従事者人員 6名

(オ) 日本子ども虐待防止学会第27回学術集会かながわ大会でのパネル展示

- ・内 容 横浜市で開催された日本子ども虐待防止学会第27回学術集会かながわ大会においてパネル展示、付添犬の展示を実施。来場者に対し、つながぐの活動について広報を行った。
- ・日 時 12月4、5日
- ・場 所 パシフィコ横浜ノース
- ・従事者人員 9名
- ・受益対象者 全国の虐待被害児支援に関わる人

⑤ 被害児・被害者の負担軽減や証拠収集に関する研究事業 支出額：218,335円

ア 診断・聞き取り手法改善のための研究事業

- ・内 容 実施した系統的全身診察や面接官による診察や聞き取りが、適切かつ十分なものであったか、被害児・被害者への負担がどれほどであったか、どのような方法がより負担が少なく、かつ十分な診察・聞き取りとなるのか等、同意を得た当事者からの情報を元に研究を行い、診察や聞き取り手法の改善につなげていく。
- ・日 時 通年
- ・場 所 つながぐ事務所等
- ・従事者人員 5人
- ・受益対象者 医療従事者、面接者、面接関わる関係者

イ 「付添犬」の運用のための研究事業

- ・内 容 動物介在療法研究者、獣医、小児科医、児童精神科医、弁護士でチームを作り、日本において、「付添犬」制度の構築、育成、活動について研究する。
- ・日 時 通年
- ・場 所 つながぐ事務所等
- ・従事者人員 10人
- ・受益対象者 研究者、獣医師、小児科医、検察官、警察官、児童相談所職員、弁護士、社会福祉士、臨床心理士、相談員、スクールカウンセラー、施設職員、行政相談窓口職員、ハンドラー、支援に関わっている関係者

(2) その他の事業

なし

3 事業実施体制

(1) 会議に関する事項

通常総会 6月

理事会 年6回開催

(2) 監査に関する事項

本監査 年1回

(3) 事務局体制

事務局スタッフ 常勤職員 1名 非常勤職員 2名
事務局有償ボランティアとして 7名